

2021年11月24日

SAAJ NEWS RELEASE

公開草案「経営者による説明」について意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、2021年5月に国際会計基準審議会（以下、IASB）から公表された公開草案「経営者による説明」（以下、ED）に対して、11月22日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- ✓ そもそも、IASBがEDの基になるIFRS実務記述書第1号「経営者による説明」（以下、本実務記述書）の改訂作業を始めた時点では、「経営者による説明（以下、MC）」とIFRS会計基準の連携だけを意識しており、IFRS財団が国際サステナビリティ基準審議会（以下、ISSB）を設置し、IFRSサステナビリティ基準の開発に取り組むことは想定されていなかった。
- ✓ ESGのEとSに相当する「環境的及び社会的事項」に関して、改訂後の本実務記述書の内容と、IFRSサステナビリティ基準の求める開示内容が整合的であることは最低条件である。ISSBがESGのEに焦点を当て、最初に公表するであろう気候変動に関するIFRSサステナビリティ基準と、改訂後の本実務記述書の内容が不整合ならば、利用者に大きな混乱と作成者に過大な負担を強いることになる。
- ✓ MC、IFRS会計基準に基づく財務報告、IFRSサステナビリティ基準に基づくサステナビリティ報告という3つの情報に関して、利用者や作成者に無用の混乱が起きない様に、3つの相互関係と整合性を可能な限り整理し、EDのさらなる改善を図った後に、改訂後の本実務記述書を発行すべきと考えている。
- ✓ ISSBとの長期的な連携は不可欠であり、今後もIFRSサステナビリティ基準の新基準が最終確定する時点で、本実務記述書の必要な改訂が完了している様に、両協議会には適切な協力体制の検討と構築を進めていただきたい。

【添付資料1】 ***Re: Exposure Draft "Management Commentary"***

【添付資料2】 公開草案「経営者による説明」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人 日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計部部長 土谷 敬